

ILO第108回総会 「仕事の世界における暴力と ハラスメント」の条約と勧告が成立!!

6月10日、21日スイス・ジュネーブで開催されたILO総会で仕事の世界における暴力とハラスメントに関する初の国際労働基準が採択された。条約に賛成439票、反対7票、棄権30票だった。日本は政府も労働側も賛成したが、経団連は棄権した。

条約は勧告で補充され、「身体的、精神的、性的または経済的的危害を引き起こす許容しがたい広範な行為」と定義し、条約の適用範囲は「契約上の地位に関わらず働く人々」も対象にし、第三者も含めた具体的な対策やハラスメントを禁止する国内法の採択を加盟国に求めている。

5月28日に参議院審議を経て成立した日本のハラスメント関連法は残念ながら、労働組合・女性たちの声をよそに、事業者へのハラスメント防止の措置義務にすぎない。今回政府は多くの声や付帯決議「条約・勧告の採択を支持し、条約成立後には批准にむけ検討を行うこと」もあり、ILOでは昨年の消極的態度を変えて賛成に回ったようだ。今度は条約批准に

むけて法整備を図る時だ。8月末頃には労働政策審議会雇用均等分科会でハラスメント関連法の指針づくりが始まるが、ハラスメントの無い職場が実現するよう注視し、ハラスメント禁止に一步でも近づこうと声を上げよう。

ILO創設100周年記念宣言も採択！今年にはILO創設100周年だった。ILOでは「仕事の未来にむけたILO創設100周年記念宣言」も採択した。結構激しい議論で来年持ち越しかの懸念もあったようだだが、無事100周年の今年採択となったそうだ。

ILO駐日事務所のHPによれば「この宣言は、変化する仕事の世界の中でILOに付託された任務の重要性と妥当性を再確認するものです。」

仕事の未来を人間中心のレンズを通して見るこの宣言は、全ての労働者の十分な保護の確保を目的とした仕事に係わる制度機構の強化、そして包摂的かつ持続的な経済成長並びに生産的な完全雇用の促進を通じて、人々が仕事の世界における変化から利益を得られるようにするこ

とに力点を置いています。

宣言には以下のような行動分野が含まれています。

機会及び待遇における実効性のある男女平等の実現、
効果的な生涯学習と全ての人への良質な教育、
全ての人に開かれた包括的で持続可能な社会的保護の機会、
労働者の基本的な権利の尊重、
十分な最低賃金、
労働時間の上限、
労働安全衛生、
ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を促進し、生産性を高める政策、
適切なプライバシーと個人データの保護を確保し、プラットフォーム労働など仕事のデジタル変容に関連した仕事の世界の機会と課題に対応する政策と措置、

とある。ガイライダー事務局長は「この組織の未来において私たちを前進に導く羅針盤だ」と強調したそうだ（朝日7月1日）。

日本の衆参両院も100周年にむけ、「ILO創設100周年に当たり、ILOに対する我が国の一層の貢献に関する決議」をあげている。であればこそILOの基本条約でまだ未批准の105号（強制労働の禁止）、と111号（差別的排除）条約の1日も早い批准をしてほしいものだ。



10日にスイス・ジュネーブの国連欧州本部で始まったILOの年次総会（日本経済新聞-2019年6月11日）

国会に女性議員を増やそう！

参議院選挙が終わった。投票率は48.8%、女性は124人中28人、22.6%だった。

最低でも3割はほしい。女性活躍と口では言いながら本音は「経済のための女性活用」にある安倍政権下では女性の状況は一向に改善されていない。当選した女性議員の活躍に期待しよう。

今回の選挙は、たまたまなのか？全労協の仲間の大椿さんと朝倉さんが立候補して、非正規労働者、女性の問題を各所で熱く訴えてくれた。結果は残念だったけれどその勇気と元気に感謝だ。



世界各地で性的被害を告発する「#Me Too」運動が広がっている（米ロサンゼルス）=AP（日経）

JALは誠意を持って 不当解雇争議を解決せよ！

6月18日品川駅前のグースホテルでJAL株主総会が開催された。会場に向かう細い道路にJAL争議団と支援者がずらっと並び解決を求めるチラシと関東キャラバンの写真集を配布した。

株主総会では支援者2人が発言でき、それぞれに昨年の植木会長の発言がありながらもまだ解決していないのかと追及した。

総会では支援者以外の人がキャラバンの写真集を掲げて質問する姿が大画面に映ったそとだ。12時過ぎまでかかった総会から戻ってくる株主に対する宣伝にも「頑張ってる」と好意的な反応もあった。

赤坂社長は「何とかして解決したいと考えている。前々からずっと考えている。ZIEPエアーや経験者採用に応募いただいたが、採用に至らず残念だ。他にも方法がないかずっと考え続けていきたいと心から思う。その方法については、合理性があつて、公明正大でなければならぬと考えている。」と答えたそとだ。

昨年からの特別協議は、結果として人員不足となつたJALがJALの経験者を採用する「ダシ」に被解雇者を使ったとしか思えない。社内でも高稼働でパイロットも客室乗務員も疲弊している。安全のためにも希望者の職場復帰と解決金による統一要求に基づく解決が必要だ。

運動を強めて1日も早い解決につなげよう！！



株主総会の会場となった品川駅前のグースホテル

#KuToo (靴・苦痛) が広がる

#MeToo運動が世界に広がり、今日本では#KuToo (靴・苦痛) 運動が広がっている。ネット署名は今も賛同が続き、3万人を超えた。



健康に悪いパンプ

スを女性に履くよう求める企業があり、就職活動中の女学生も重い靴を抱えて歩く姿は痛々しい。6月始め衆議院厚労委員会で根本厚労大臣は「社会通念に照らして業務上必要かつ相当な範囲」での着用を認めるかのような答弁をしたが、女性差別は社会通念や慣習、慣行を盾に続けられてきたことを忘れないでほしい。

女性差別撤廃条約の2条(締約国の差別撤廃義務)のf項には「女子に対する差別となる既存の法律、規則、慣習及び慣行を修正または廃止するための適当な措置(立法を含む)をとること」の規定ある。

“批准”しないと始まらない!! シールで拡大を!

女性差別撤廃条約実現アクションシオンでは、選択議定書批准を求める請願署名に取組んできた。通常国会では62名の紹介議員を得て5万2千通余の請願を届けたが、自民・維新の保留で参議院での採択もならず、衆参共審査未了となつた。実現アクションシオンでは選択議定書を広く知っ



てもらうために以下のようなシールも作成した。
1枚100円、ご希望の方は女性委員会事務局の岩野まで
(03)5403-1650

私のお気に入り

私は、ディズニーが大好きでよく行くお店があるのでご紹介します。

泊まりでディズニー行く時に必ず行くお店があります。

それは、1日目の朝食にクリスタルパレス・レストランです。ここは予約をしないと入れないお店です。朝食限定でプーさんの仲間達が1つ1つのテーブルに挨拶しに来てくれます。

1日目は、19時くらいまで遊びそのあとは、夕飯にシェフ・ミッキーって名前のレストランで夕飯を食べます。ここも予約です。

ここは、ディズニーランドホテル、ディズニーシーホテルミラコスタ、ディズニーアンバサダーホテルの宿泊者はホテル予約時にシェフ・ミッキーの予約も出来ます。ですが、当日電話で取れる場合があります。それは、キャンセル拾いといい当日キャンセルした人がいて自分の予定と合えば予約が出来ます。

ここもキャラクターが1つ1つのテーブルに挨拶しに来てくれます。

私の中では、ここの2つのお店がお気に入りでも泊まりで行く時は、必ず行くのでもし良かったら皆さんも行ってみてください。

全国一般労働組合東京南部ピアサポート・北分会 伊藤 睦

